

# 令和5年度 東海東小学校 学校経営評価 結果

学校経営の基本方針	具現化のために
<p>「花いっぱい ゆめいっぱい やさしさいっぱい 東海東小学校」                  ～ゆめとやさしさのある子どもを育てたい～</p> <p>○「なりたい自分」を見付け、そのために「続けること」ができる子ども                  ○周りのことを自分のこととしてとらえ、勇気をもって行動を起こすことができる子ども</p>	<p>①多くの知識や技能を身に付けさせる。                  ②実体験をとおして自信を付けさせる。                  ③「思いやり」「勇気」といった価値観に触れさせるコミュニケーション活動の充実を図る。</p>

評価の基準（4段階） 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

評価項目	評価指標	学校のコメント	学校	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	外部平均	運営委員コメント
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
進んで学ぼうとする意欲	①「わかる、できる」まで「教える、引き出す」授業づくり（アウトプット、習熟）	○各学年・学級で発達段階に応じた学習活動が展開されている。2年生以上でタブレットPCを積極的に活用し、ロイロノート（授業支援ソフト）やキュピナ（練習問題ソフト）を使いながらわかる・できる授業づくりに努めている。 ○5・6年算数で少人数指導、3～6年の理科や外国語で専科指導を行っている。また、高学年では、音楽と家庭科、図工と家庭科を学級担任同士で交代した一部教科担任制も取り入れて、学年全体で子どもたちの指導にあたっている。 ○お気に入りの本を紹介したり、ボランティアの方に読み聞かせをしていただいたりして読書活動を推進しているが読書量には個人差がみられる。	3	3	3	3	3	4	3	3	3.5	3	3.2	①先生方が一人一人の児童の実態に即して、熱心に指導されている。今後も子ども達が達成感を味わえるよう「教える、引き出す」授業づくりの充実に取り組んでいただきたい。 ②個々の子どもの能力に応じた多様な取組をされているように思う。保護者が我が子の指導方法に興味を持って見守っていただくとうい。 ③意見にもあったように、百マス計算や暗唱も継続されるといいと思う。 ④タブレット等の導入により、子ども達の学習意欲につながっている事と思う。また、少人数指導や専科指導を行うことにより、なるべく上下の差がなくなっている事も評価される点である。 ⑤授業見学の際に、タブレットの活用や教科担任制、様々な教材の使用を拝見して、工夫して授業をされていることが分かった。保護者アンケートでは読書やメディア使用が低評価だが、様々なツールがある今の時代には中々難しいと思う。朝の時間に読書の時間があるので、学校と家庭で連携して短い時間でも習慣づけることで、本の楽しさに気付いてもらえるとうい。 ⑥教科書での授業に加えてICT教育も欠かせない時代であり、これからは益々タブレットPCを多く取り入れる学習になると思う。そのことに備えておくことも必要かもしれない。読書活動で子どものお気に入りの本を紹介するのも良いと思う。 ⑦各学年に応じた学習指導がされていると思う。特にタブレットが有効に活用されている。学年に応じ、少人数指導や教科担任制、専科等、多様な指導の工夫が見られる。読書によって語彙力、創造性等が培われる。今後も読書の習慣化に取り組んで欲しい。 ⑧アンケートで学校への改善点が話されているが、特段難しいものではなく、基本の知識を身に付けて欲しいとの願いであるので、是非ともその要望に応じていただきたい。
	②ICT教育の推進（ロイロノート、キュピナの活用）													
	③読書活動の推進													
	④少人数指導・専科指導・一部教科担任制の導入													

思いやりの心	①「花いっぱい活動」の推進	<p>○花いっぱい活動を継続して行っているが、以前に比べると意欲的な取組とまでは到っていない状況がある。校門前の花壇のお世話も北林さんにおまかせになってしまっている。</p> <p>○通常学級に在籍している支援が必要な児童について、外部の機関とも連携しながらよりよい手立てを模索してきた。解決できていないものもあるが、子どもにとっては過ごしやすい環境となってきた。</p> <p>○体験活動では、各学年において学校内外での活動を多く実施している。先日は高齢者とのグランドゴルフを3年生が行い、地域の方と大いに触れ合いながら競技を楽しむことができた。</p>	3	3	3	2	3	4	3	4	2	3	3.0	<p>①子ども達の成長にとって体験活動は欠かせない。できるだけ体験の時間や機会が増えるように願っている。</p> <p>②支援が必要と思われる子どもは、家庭支援も必要な場合があると思われる。</p> <p>③花いっぱい活動は、以前表彰された頃に比べると、寂しく思う。</p> <p>④花いっぱい活動は、やはり以前に比べると活動できていない。しかし、校内はとてもきれいに整えられ、広々としたゆとりが美しく感じます。特別な支援の教育にも力を入れて下さり、親としてありがたい。体験活動も人数が多いので活動も限られてくる。市で行われている活動に親が積極的に参加するべきである。</p> <p>⑤子ども達は、きれいな花に囲まれ健やかに育っている。お世話されている皆様に感謝します。特別支援の取組は深くは分かりませんが、支援員の先生方が愛情を持って接してらっしゃる姿がよく見られる。グランドゴルフは皆さん笑顔で楽しそうに活動されていた。今後子ども達が多様な体験ができるとよい。</p> <p>⑥思いやりの心を育てるためにはこうすれば良い、が一番難しい。日々の生活や人との触れ合いで育っていくと思う。花いっぱい日本一に輝いた学校とは思えない残念な姿ですが、学校だけでは限界があると思う。PTAや地域で取り組んでみてはどうだろうか。</p> <p>⑦学級園の整備・管理は大変だと思う。奉仕作業や地域のボランティアの協力を導入してはどうか。特別支援教育の中で、個に応じた支援とあるが、子ども達の持ち味、個性を育てたい。コロナ禍の中で体験学習の充実を図るのは難しかったと思われるが、初期の目的が達成できたのではないか。</p> <p>⑧学年別の先生方・子どもと共に協力し合い、努力して「花が美しい・きれいだね」という状況をつくって頂けると、子どもの心が丸く成長すると思う。限られた時間で共に手を取り合って花いっぱいの活動に尽力して頂きたいです。</p>
	②特別支援教育の充実（個に応じた支援、外部との連携）													
	③体験活動の充実													
がんばりぬく心と体	①体育科授業等での基礎体力づくり（運動量の確保・様々な運動への取組）	<p>○体育科の授業では、様々な運動に取り組んでいる。運動会は、走や表現などの学習を生かす場となった。また、昼休みも外遊びを推奨し、職員も一緒に屋外で遊ぶことで、体力向上を図っている。</p> <p>○生活リズムの定着では、定期的に生活習慣をチェックしたり、リズムが整っていない子に学級担任や養護教諭が声かけをしたりしている。</p> <p>○食の安全については、異物混入があったときも東海小調理場との連携を図りながら即座に対応し、子どもたちへの影響を最小限に食い止められるよう努めてきた。</p>	3	4	3	3	3	4	3	4	4	3	3.4	<p>①運動会での子ども達の元気いっぱいの姿に感動した。普段の授業の充実と健康教育の推進の賜だと思う。</p> <p>②関わりを持つ機会が多くある事は素晴らしいと思う。</p> <p>③外に出て、声を出して体を動かす遊び等がいいと思います。</p> <p>④体力づくりなども体育の授業やクラブ活動などで十分に行われていると思う。続ける力も個人差があり、家庭での声かけも大切な事だと思う。健康教育も親子で学び、話をする事がとても大切で、親も生活習慣を考えることが必要だと思う。</p> <p>⑤昼休みに元気いっぱいの先生方と子ども達の様子がよく見られ、ほっこりした気持ちになります。参観日で生活リズムの授業があったが、学校と家庭で連携して取り組む良いきっかけになると感じた。</p> <p>⑥遊びの中で基礎体力づくりができる時代ではないので、学校での取組が大事になる。生活のリズム、食の安全は学校だけの問題ではなく、家庭も一緒に考えること。</p> <p>⑦運動会では各学年の走や表現など素晴らしい内容であった。日頃から体育や遊びの時間、少年団活動など運動好きの子ども達が多いと思う。早寝・早起き・朝ごはんのリズムが基本であるが、各家庭や子ども達によって差があるので、今後も根気よく子ども達を励まし、学校と保護者との連携が必要である。</p> <p>⑧運動会で見た先生方の笑顔がとても印象的でした。「笑顔は伝染する」という言葉どおり、子ども達は皆、笑顔！そして一生懸命に頑張っていた。先生方のチームワークは最高。</p>
	②あきらめずに続ける力と心の育成													
	③健康教育の推進（食の安全・生活リズムの定着）													

地域とともにある学校づくり	①地域とのつながりの充実（コミュニティ・スクール、情報発信）	○今年度からコミュニティ・スクールをスタートさせ、「しゃべり場」では子どもの安全について熟議を行うなど、地域とつながる機会をもちながら、学校運営委員の方を中心に学校運営協議会を進めることができた。	3	4	3	4	4	4	3	4	3.5	4	3.7	①地域との連携は今後益々重要になってくると思う。「しゃべり場」は学校と地域がつながるよい機会だった。学校だよりやホームページも学校のことがよく分かり、とても良いと思う。「よのなか教室」を実施していただき、ありがたかった。
	②キャリア教育の推進（魅力的な地域の大人との出会い）	○キャリア教育では、東海地区だけでなく広く延岡市全体から講師を招いて、高学年を中心に「よのなか教室」を進めることができた。												②地域や人とのつながりを企画する事は難しい。子ども達からもふるさと応援のアイデアが出るとよい。
	③地域のひと・もの・ことの積極的な活用（地域も学校も元気）	○權伝馬踊りの伝承活動として保存会の方にご指導いただき、地域芸能大会で発表することができ、米づくり活動でも田植え～稲刈り～餅つきまでを地域や保護者の協力のもと行うことができた。 ○安心メールやホームページなどを活用して、地域や保護者に向けての情報発信を行ってきた。												③安心メール、ホームページの活用が良い。

## 総合所見（学校経営を全体的に見て）

- ①学校全体が明るく元気であるといつも感じています。それは先生方が元気だからだと思います。意欲のある先生方のご指導のおかげで学校の教育目標にある「ゆめとやさしさのある子ども」が育ってきていますね。いろいろとご苦労もあるかと思いますが、地域の宝である子ども達の健全育成に向けて、一丸となって教育活動を推進していただきますようお願いしています。
- ②教育界においても、タブレットやAIなるものが導入されてきた。しかし人とのつながりは、人間同士のつながりの中でしか生まれません。学校は自信を持って人育てを進めていっていただきたい。（参考資料あり）
- ③朝の交通指導で感じることは、「おはようございます」の挨拶が個人差があり、なかなか声が出ていない子どもが多いという事です。各教室での挨拶は良く出ていると思いますが、友達同士、学校外での挨拶も元気のもとだと思いますので、よろしくをお願いします。
- ④新型コロナウイルスなどをはじめとした感染症等の流行により、今までとは違った活動を求められるようになりました。学校運営もとても苦労されていることが多いと思いますが、その都度子ども達のために考えてくださっていることに感謝しています。先生達にいつお会いしてもこやかに対応していただいて、それが学校の明るさや子ども達の元気や明るさにつながっているのだらうと思っています。子ども達の心のケアや親の相談事にこれからも柔軟に対応して頂ける学校であることを心から願っています。個人的に色々話を聞いて頂き、対応していただいたことに感謝しております。本当にありがとうございます。
- ⑤学習面や健康面でも様々な工夫をして、子ども達のためにご尽力されていることが分かりました。様々な学校行事もあるなか、先生方の下準備も大変だろうと想像しました。先生方の心身のご健康を第一に、よりよい学校づくりに取り組んで頂きたいと思います。また、コミュニティ・スクールが発展していくことで、子ども達が更に思いやりの心や郷土愛が育まれ、夢とやさしさのある子どもに成長していくことを期待していますし、私も積極的に参加できればと考えています。
- ⑥先生方の負担は大きいと感じておりました。最近はサポートの体制も整ってきていると聞きました。学校経営でお願いできるサポートは積極的に進めた方が良くと思う。本来の授業・児童との時間に充てて、先生方も余裕のある時間を持って欲しい。
- ⑦学校運営協議会に参加し、授業参観の様子で先生方の指導や子ども達の授業に臨む姿勢が定着しているように思われる。コロナ禍の5類移行、インフルエンザの感染等に配慮しながらの学校運営や働き方改革の推進、保護者への対応、風通しのよい職場づくり等、学校の大変さが分かります。他にも学力検査や不登校、問題を抱えている子どもや保護者への対応等、学校を取り巻く環境は厳しいと思われませんが、校長先生を中心に先生方や保護者が一丸となって頑張っておられることに感謝です。
- ⑧肯定的意見はもちろん子どもの悩み、改善点等を読んでいると、すべてに寄り添ってあげたい・・・そんな気持ちでいっぱいになりました。このように親から子に対する思い等が自由に口に出せる環境になると親が朗らかに子育てできるのだらうなあと感じました。親御さん、がんばれ！先生方がんばれ！
- ⑨登校、下校の際に子ども達に会ったときに、子ども達が率先して朝のあいさつ、下校時の帰宅のあいさつをいただき、その日の印象が非常に良好です。

